

平成 30 年 6 月市議会定例会  
副市長追加報告案件説明

[説明者；樋口副市長]

報告案件につきまして、御説明申し上げます。

報告第 23 号から第 25 号までの 3 件は、いずれも長野市が一定割合以上出資している法人の経営状況につきまして、地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定により、御報告申し上げるものでございます。

まず、報告第 23 号 公益財団法人 ながの観光コンベンションビューローの経営状況につきまして、御説明申し上げます。

初めに、平成 29 年度の事業実績でございますが、コンベンション事業につきましては、各種コンベンション及び合宿の誘致に努めたほか、開催された各種コンベンション、計 156 件に対する支援事業を実施いたしました。

また、観光振興事業につきましては、観光案内所の運営、観光パンフレット・ポスターの作成及び各種宣伝媒体等を活用した観光宣伝事業、旅行業登録による着地型旅行商品の企画・販売、フィルムコミッション事業等を実施したほか、平成 29 年度から 33 年度までの 5 か年を期間とする長野市観光振興計画に関連した事業並びに J R が県内の観光関係者や自治体とともに実施した「信州デスティネーションキャンペーン」に関連した誘客事業を展開いたしました。

この結果、平成 29 年度の決算額につきましては、コンベンション事業費として 6,728 万 6,945 円、観光振興事業費として 1 億 6,430 万 4,782 円、管理費と合せた経常費用計は 2 億 6,694 万 2,796 円となり、正味財産期末残高は 1 億 2,152 万 1,907 円となったものでございます。

次に、平成 30 年度の事業計画及び予算につきましては、コンベンション事業費として 6,713 万 3 千円、観光振興事業費として 1 億 5,256 万 8 千円を計上したものでございます。

次に、報告第 24 号 一般財団法人 長野市文化芸術振興財団の経営状況の報告につきまして、御説明申し上げます。

平成 29 年度の事業実績につきましては、長野市芸術館の指定管理者として、地域の新たな文化拠点となるべく、開館から 2 年目となるシーズンの運営に当たり、安全で快適な管理運営に努めるとともに、創る・楽しむ・育む・つなぐの 4 つのコンセプトに基づく事業を実施してまいりました。

2 回目の開催となった「アートメントNAGANO」は、10 日間で 13 公演を実施したほか、「フリンジ長野」と題し、街中で市民グループと連携した催しも実施するなど、延べ 18,124 人の皆様にお楽しみいただき、「日常に音楽を、芸術を」という長野市芸術館が提唱するコンセプトの実現に向けて取り組んでまいりました。

市内各所に出張し、クラシック音楽を中心とした生演奏会を行う「音楽キャラバン」につきましては、44 公演を行いました。

これらの結果、平成 29 年度の決算につきましては、事業会計の経常費用が 4 億 6,718 万 3,994 円、法人会計を合わせた経常費用の合計が 4 億 9,656 万 6,338 円となり、正味財産期末残高は 1 億 1,030 万 3,118 円となったものでございます。

次に、平成 30 年度の事業計画及び予算につきましては、自主事業の実施及び施設管理運営等を行うものであり、収益並びに費用はともに同額の 4 億 8,644 万 4 千円を見込むものでございます。

次に、報告第 25 号 公益財団法人 長野市スポーツ協会の経営状況につきまして御説明申し上げます。

初めに平成 29 年度の実績につきましては、競技水準向上事業として、選手・指導者の強化・育成に対する補助を行うとともに、スポーツ普及・交流事業として、加盟団体が主催する市民スポーツイベント開催事業に対する補助等を行いました。

この結果、平成 29 年度の決算につきましては、スポーツ振興支援事業費として、3,307 万 5,611 円、管理費と合わせた経常費用計は、4,170 万 5,739 円となり、正味財産期末残高は 6,247 万 4,674 円となったものでございます。

次に、平成 30 年度の事業計画及び予算につきましては、競技水準の向上及び地域スポーツの推進のため、スポーツ振興支援の事業費として、3,538 万 7 千円を計上したものでございます。

以上で、報告案件の説明を終わります。